

「 2 0 1 7 年 は 」

今年は酉年。酉の字にはもともと「果実が熟してきた状態」という意味があり、そこから「蒔いてきたものが実り刈り取る時期」と解釈されています。昨年は思いもよらない熊本地震があり、目の前の状況に戸惑いながらも全国からの支援に感謝し、力を合わせて一つ一つ困難を乗り越えてきました。今年も昨年にも増して皆が心をつにし、復興に向けて進んでいかななくてはならない年だと思います。酉の字にちなみ「いままでの努力が報われる」ことを願いながら、それぞれの場所でできることを頑張っていきたいと思います。

さて、新しい年が明け、本校では1月10日に通学生と院内訪問教育生の始業式を、11日と12日には在宅訪問教育生の始業式を行いました。始業式では「3学期は“明るく”を目標に、寒さに負けずに過ごしましょう。そして、まとめの時期です。これまでを振り返りしっかりとまとめていきましょう」と話をしました。1月15日の授業参観では、保護者の方と担任が児童生徒の成長について話し合うことができました。児童生徒と教職員が力を合わせて1年間の目標を達成できるよう更に頑張っていきたいと思っています。

また、授業参観後には、PTA人権教育研修会を実施し、水俣病資料館「語り部」の杉本 肇 様に「水俣から未来へ」の演題で、水俣病認定患者の子どもとして体験したことや感じたことを穏やかな口調で、率直にお話ししていただきました。水俣病についてもっと学び、人権についての意識を高め、差別を許さないという力をつけていきたいと思いました。



1月20日から29日まで本校と天草支援学校の合同作品展が「ふれあいスペース如水館」で開催されています。今回は熊本県肢体不自由児協会のデジタル写真展も同時開催されています。写真展では、本校の高等部3年生が審査員賞を受賞した作品や本校生徒がモデルになった作品も展示されていますので、作品展に足を運んでいただき鑑賞していただければ幸いです。



新しい年はスタートしたばかりです。どんな年になるか分かりませんが、日常や通常であることの有難さを忘れず、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。幸福と感ずることには個人差があると思いますが、児童生徒一人一人が幸福と感ずる度合いが高まることを願って、希望に胸膨らませ前進していきますので、昨年同様、御支援をよろしくお願いいたします。

平成29年1月25日